

校長あいさつ

福島県立橘高等学校 校長 佐藤 秀美

福島県立橘高等学校は、明治30（1897）年に創立され、これまで、福島高等女学校・福島女子高等学校と女子教育の伝統を引き継ぎながら、平成15（2003）年に男女共学の橘高等学校と校名を変更し現在に至っています。令和9年度には、創立130周年の節目の年を迎えます。

本校は、校訓である「自主・自律・自立」の精神を備え、知性に溢れ、学習意欲の高い生徒の育成を目指しております。生徒は自己実現のために勉学に励むとともに、部活動や生徒会活動等にも全力で打ち込み、質の高い学びと優れた文化（たちばな文化）の創造に取り組んでおります。

生徒の進学実績においても、今春の卒業生は、国公立大学に、県内の県立高校で最多となる182名が合格（東北大学・福島大学・筑波大学・新潟大学・千葉大学など）し、私立大学に351名が合格（早稲田大学・明治大学・法政大学・中央大学など）するなど、多くの生徒の進路希望を叶えることができました。

また、部活動では、山岳部・陸上部・水泳部がインターハイや東北大会に出場し、剣道部も、全国選抜優勝大会に出場を果たしました。文化部では、合唱部が声楽アンサンブルコンテスト全国大会で銅賞に輝き、全国高等学校総合文化祭に囲碁部、文芸部、書道部が出場するなど、多くの部活動が福島県を代表する活躍を見せています。

今年度の重点努力目標には、永く受け継がれる本校の伝統と地域において果たす役割を踏まえ、「質の高い授業の創造」・「質の高い文化の創造」・「進路目標の実現」の3つを掲げております。今後、社会は益々混迷を深め、生徒たちはそれぞれの人生において、常に解決しがたい課題に直面すると思いますが、新しい時代に対応できる資質・能力を育むため、伝統と文化を継承しながら、常に社会から求められる高校となれるよう努力を続けてまいります。

今後とも、皆さまの本校教育活動に対するご理解・ご協力、並びにご支援を賜りますようお願いいたします。